

【北海道における里親リクルート及び乳幼児短期里親委託支援事業報告】

日本財団 担当者様

報告日付：2025 年 3 月 31 日

事業 ID：2024010386

事業名：北海道における里親リクルート及び乳幼児短期里親委託支援

団体名：(福) 麦の子会

担当者名：船木 香

TEL：011-776-6856

【目的】

一時保護等された乳幼児が家庭的な環境（里親等）で暮らせる環境が整備される。

【目標】

1. 登録里親の数：年間で 4 人程度とする。
2. 受託の乳幼児の数：年間で 8 人程度とする。

【事業内容】

1. 事業説明、里親リクルート、契約

●R6 年度 緊急里親 4 名募集

R6 年 5 月 8 日 札幌市内養育里親へ案内通知発送

R6 年 5 月 22 日 応募締め切り（31 組応募）

R6 年 5 月 28・30 日 説明会（札幌市児童相談所家庭支援部里親担当係長同席・里親会副理事長陪席）（37 名参加）

R6 年 6 月 20 日 選考委員 5 名による書面審査（選考対象 15 組）

・選考委員（北海道大学 井出智博准教授・札幌乳児院院長・札幌市児童相談所家庭支援課長・麦の子会統括部長・事業担当者）

R6 年 6 月 20 日 里親 4 組 選考決定通知発送

・選考理由（乳幼児の養育経験・居室、ペットなど環境要因・経済状況・里親会活動へ協力）

R6 年 6 月 26・27・28・29 日 里親 4 組契約締結/家庭訪問・面談

●R7 年度 緊急里親 1 名募集

R7 年 1 月 9 日 札幌市内養育里親へ案内通知発送

R7 年 1 月 27 日 応募締め切り（11 組応募）

R7 年 2 月 6 日 説明会（札幌市児童相談所家庭支援部里親担当係長同席・里親会副会長陪席）（11 名参加）

R7 年 2 月 28 日 選考委員 5 名による書面審査（選考対象 15 組）

・選考委員（北海道大学 井出智博准教授・札幌乳児院院長・札幌市児童相談所家庭支援課長・里親会副理事長・麦の子会統括部長）

R7 年 3 月 19 日 契約締結/家庭訪問・面談

2. 里親への委託 R6 年 7 月 1 日～R7 年 3 月 31 日

里親 1

① (H・T ちゃん) R6 年 7 月 1 日～R7 年 1 月 16 日 (0 か月～7 か月) (200 日間) →養子縁組里親へ (札幌市)

② (M.D.U ちゃん) R7 年 1 月 24 日～継続中 (0 ヶ月～) (67 日間)

里親 2

③ (K・O 君) R6 年 7 月 1 日～R6 年 9 月 6 日 (0 か月～3 か月) (68 日間) →養子縁組里親へ (札幌市)

③ (K・W ちゃん) R6 年 11 月 28 日～30 日 里親 3 へ 12 月 13 日～R7.1 月 17 日 (0 ヶ月) (40 日間) →家庭ひきとり

⑤ (N・E 君) R7 年 1 月 23 日～継続中 (0 ヶ月～) (68 日間)

里親 3

⑥ (K・M 君) R6 年 7 月 1 日～R6 年 10 月 18 日 (1 歳 10 か月～2 歳) (110 日間) →養育里親に委託

⑦ (H・T 君) R6 年 11 月 11 日～R6 年 11 月 19 日 (3 歳 3 か月) (9 日間) 一時保護所満床のため 3 歳児委託→受け入れ可能となったため

④ (K・W ちゃん) R6 年 12 月 9 日～12 月 12 日 (0 か月) (4 日間) →緊急里親 2 に戻る

⑧ (Y・K 君) R7 年 1 月 6 日 (8 か月) (1 日間) →家庭ひきとり

⑨ (S・S 君) R7 年 1 月 23 日～継続中 (10 か月～) (68 日間)

里親 4

⑩ (S・S 君) R6 年 7 月 16 日～R6 年 8 月 6 日 (22 日間) →家庭ひきとり

⑪ (S ちゃん) R6 年 8 月 19 日～R6 年 9 月 5 日 (0 か月～1 か月) (18 日間) →養子縁組里親へ (民間委託機関/環の会)

⑫ (S・I 君) R6 年 9 月 30 日～R6 年 10 月 9 日 (0 か月) (10 日間) →家庭ひきとり

⑬ (S 君) R6 年 11 月 5 日～8 日 (6 か月) (4 日間) →家庭ひきとり

⑭ (T・T 君) R6 年 11 月 18 日～R7 年 2 月 4 日 (1 歳 7 か月～2 歳 0 ヶ月) (79 日間) →家庭ひきとり

(1) 委託乳幼児数 14 名

内訳 (0 歳児 - 11 名 / 1 歳児 - 2 名 / 3 歳児 - 1 名)

(夜間一時保護 2 名)

(2) 委託解除後のその後

- ア 養子縁組里親への委託 - 3 名 (札幌市内里親 2 名・民間委託機関 1 名)
- イ 養育里親への委託 - 1 名
- ウ 家庭ひきとり - 6 名
- エ 一時保護所へ (3 歳 3 か月) - 1 名 一時保護所が受け入れ可能となったため
- オ 継続中 - 3 名

(3) 稼働日数 7 月 1 日から 3 月 31 日 合計 768 日

里親 1 組あたりの月平均 約 21 日

3. 里親向けの研修会の開催

・里親候補家庭研修

R6 年 11 月 1 日・2 日「新規里親登録研修」

講師：大分大学 相澤仁教授・認定 NPO 法人児童虐待防止協会 津崎哲郎理事・札幌市子ども心身医療センター 上田敏彦医師

・乳幼児短期緊急里親研修

R7 年 3 月 5 日 「妊娠 SOS にくる妊婦さんと赤ちゃん」

講師：にんしん SOS ほっかいどうサポートセンター 田中佳子所長・関久美子助産師

4. フォスタリング機関の情報共有

フォスタリング会議 (札幌市内 3 フォスタリング機関・児相)

R6 年 4 月 18 日・5 月 16 日・6 月 20 日・7 月 18 日・8 月 23 日・9 月 19 日

10 月 17 日・11 月 21 日・12 月 19 日

R7 年 1 月 16 日・2 月 20 日・3 月 13 日 (全 12 回)

- ・リクルート活動 「里親フェスタ」 R6 年 10 月 6 日 共同開催について
- ・各機関で行う里親レベルアップ研修について
- ・里親ショートステイ (モデル事業) 報告
- ・乳幼児短期緊急里親事業 説明等

5. 事業実施によって得られた成果

(1) 赤ちゃんが家庭的環境で養育される機会の確保→施設ではなく温かい家庭のなかで安心して過ごせる赤ちゃんが増え愛着形成に良い影響がみられた。

(2) 緊急時にも即応できる体制の構築→突発的な母子分離 (虐待のリスク等) にも対応できる受け皿として機能し、迅速な受け入れが可能になった。

(3) 家庭的養育の重要性への理解が広がった→施設ではなく家庭で育つことの大切さについて関係機関や地域社会の理解と関心が深まった。

(4) 里親支援の仕組みの強化→緊急里親さんのサポート（研修、相談支援等）を行うことにより委託に関する安心感が生まれ里親解除後の喪失感の軽減がはかられた。

6. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

【新たな課題】

乳児院に措置されると長期化しやすく2歳頃まで施設で過ごすことが多い→その間に家庭養育を経験できず安定した愛着形成が困難になるリスクが高まる。

【対応案】

(1) 家庭養育の優先にむけて

0～2歳児は原則家庭養育（里親措置等）とすることを関係機関とともに構築していくことを目指していく。

(2) 乳児院の機能の充実

乳児院が家庭養育への「中継地点」や「支援拠点」としての機能を少しずつ取り入れ、多様な里親支援の役割を担う環境の整備について関係機関と検討していく。